

令和元年11月9日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 阿部 治正 様

議会報告会 2班（南部地区）
班長 菅野 浩考
渡辺 仁二
大塚 洋一
野村 誠
森田 洋一
中村 彰男
乾 紳一郎

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 令和元年11月9日（土）
午後2時～午後4時
- 2 場所 南流山センター 講義室
- 3 欠席議員
なし
- 4 来場者数 市民来場者 20人
議員・職員 7人
- 5 報告内容
テーマ：南部地域の諸課題について

- ①次期総合計画におけるポイント
- ②平成30年度決算審査
- ③まちづくりからみた南部地域の課題

※大枠から入り、現状課題、更にまちづくりといった形で絞り込む

6 意見交換内容

- ・「都心から一番近い森の町」ですが森が減っているがなんでつけたのか？段々開発しているのにどうしてつけたのか。線とか面、列とかでは森ではない。今後、固まった森を作る予定があるのか？（市民）

面の話。大きな森を維持するには費用が掛かるので難しい。マーケティングイメージとして森というものを使った。（議員）
議会では森が減っているのにこの言葉を使うのはおかしいと反対した。（議員）

思井の森は、県と掛け合い、残す方向である。今後も緑を残す政策提言を行う。（議員）

- ・井崎市長の計画による南流山駅高度商業化について高さ制限はどうなるのか？（市民）

流山市では南流山駅の周辺の再開発は考えていない。都市計画の観点で変更していこうと考えている。（議員）

- ・森の街というイメージは南流山ではあまり考えられない。南流山駅の景観を緑の街にイメージできるようにしていけばよいのではないか？（市民）

- ・福祉会館や公民館を新たに建設しないのは必要がないと考えているのか？（市民）

福祉会館や公民館は新たに開発した所に建設する流れになっている。（議員）

南流山にできる児童館、図書館は地域交流センターなり、子供から高齢者まで使用できる設備となる予定（議員）

- ・南流山新設小学校について ハザードマップでも危険な地域に新設する理由がタウンミーティングなど行政からの説明がなされていない。小学校を利用する人は小学生。大人が安全確認

をできていても使用する小学生をどう思っているのか？（市民）

調整池に義務教育施設を作った事例はない。大学は1校あるが、安全性の確保ができないと絶対だめだし、この安全性の確保を議員が発言していく。（議員）

安全は確保しなくてはならない。調整池の上に建てられることについては調査結果が出ていないのでコメントは控える（議員）

安全性の担保はしっかり調査して、地元の住民の話を聞いていくべき。（議員）

タウンミーティングでの質疑等は執行部から文面で説明してもらおう。安全第一であるが執行部から出てきている回答に足りない意見を皆さんから意見を聞き、市に届けていきたい（議員）
いままで調整池の上には学校施設の建設はない。大畔地域の新設校は市街化調整区域内に建っている。他に建設できる場所があるか？慎重に考えていくべきである。学校建設は必要（議員）

- ・調整池の上に建てて地域の安全を確保できるのか？場所がないから建設ありきで話が進められているのでは？あえてリスクの高い所（調整池）に子供を通わせるべきなのか？（市民）
代案や皆さんの意見があれば取り入れていくべきだと思う。（議員）

- ・行政の決まったことを議会が覆すことは難しいのか？（市民）
専門の委員会と各会派の意見を出していきたい。専門家の意見をしっかり取り入れたいと働きかけたい。（議員）

- ・今避難想定は地震だけ。大雨時に避難袋を徒歩で持っていくとびしょびしょになってしまいます。大雨時の坂道など歩いて移動はできない。（市民）

今回、国の基準でレベル3の避難指示がでた。これが朝4時に発表されてから、朝6時に新たに開設された学校には誰も来なかったと聞いている。浸水人口は2万人を超える。低地の避難場所の確保は早く取り組みを言っていく。（議員）

毛布の件は議会あげて流山市に訴えていく。

安心メールだけでは危機感がないので避難しない。江戸川の水

- 位のライブカメラなど情報を共有したい。(議員)
- ・ライブカメラは問い合わせが殺到していたのか、全然見ることができなかった。(市民)
 - ・避難場所もキッコーマンアリーナへは遠い。民間の高いビルなどに避難できるよう今後取り組みたい(議員)

7 参加者から議会への要望

- ・小学校が足りないのはおおたかの森でも同じ。子供たちの増える予想が流山市では全然できていない。(市民)
10年計画、20年計画でなぜできないのか？市長にも議員にも苦言を言いたい。(市民)
子供たちの数え間違えもそうだが、人口が激増したため。南流山地域にそもそも学校建設などの計画はもともとなかった。
議会としてもしっかり審議していきたい。(議員)
人口推計を流山市では6年間出してきているがなかなか正確な数字が出ない。議会もしっかり注視していきたい。(議員)
- ・学校区域の変更が可能であれば、これも考えてもらいたい。(市民)
- ・流山市の観光地は点。点をつないで線(緑地道路など)にし面にしてほしい。(市民)
- ・思井のあたりに住宅地ができるが、流山市にあった住宅地にしてほしい。街路樹もないので緑や景観も含めて新しい住宅地を作ってほしい。(市民)
- ・この前の台風時に鯖ヶ崎自治会などから避難場所の問い合わせがあった。避難場所がキッコーマンアリーナになっていたが、車で来ないでと言われた。徒歩だときついでに収容バスなどを出してほしい。(市民)
- ・避難場所にペットの避難の取り組みをして欲しい。(市民)
流山市ではこれからはペットとの避難も推奨している。今後も市民もわかりやすく啓蒙していきたい。(議員)
- ・南部地区の議会報告会は男性議員だけなので女性も入れてほし

い。(市民)

- ・ 専門家からの意見や調査などはしっかり市民に情報公開してほしい。(市民)
- ・ 台風時の江戸川の水位の情報は朝4時にメールが来たが、朝4時では寝ていた。連絡方法を考えてほしい。準備避難、自主避難でキックマンアリーナが用意されたが、食事や毛布など自分で持ち寄って避難することになっていたが、車では避難できない状況では無理ではないか？
災害が発生した時に避難するときは食事や毛布は用意されているのか？
地震時や水害時の避難は違うものでは？議会でも取り上げてほしい。(市民)
- ・ 土地の高い地域。低い地域の人数把握はできているのか？すべての人が避難するとキックマンアリーナでは溢れてしまいます。(市民)

8 所感

- 平日開催でもよいと思う、無理して土日に設定する必要ないと感じる。【菅野浩考】
- 予想通り、新設小学校の問題と台風などの水害の避難方法等の意見が多く出た。現実的な内容と感じた。【森田洋一】
- 市民から頂いた課題に向き合うには、年1回のペースで、2回実施するならば、春のチームと秋のチームに分ける。
【森田洋一】
- 義務感から嫌々実施するよりも、モチベーションを上げることが大切と感じた。
そのためには、発表内容の自由度を上げる、お互いフォローし合う、といった姿勢が大切と思う。【森田洋一】
- 1テーマにして、意見を聴く場、議会報告会自体、どこの自治体でも、形骸化するケース多く 継続には、意見交換など、ざっくばらんな雰囲気も大切。【森田洋一】
- あくまでも、本会議や委員会、会期中の活動を補足することが狙いなので、どういう場なのか 明確に知らせる必要性もある

のではないか。【森田洋一】

- 議会は、執行機関ではないため、要望を執行部に働きかけたり提言することがメインになる。即解決を求める参加者からは不満要因となり得るため、事前の案内で、執行機関ではないことを明記するとよい。【森田洋一】
- 特に、タウンミーティングで荒れた、場合、そのはけ口が議会報告会となりやすい傾向にあると感じる。【森田洋一】
- 報告会の実施は、年に2回ではなく、1回で充分ではないか。議員それぞれの通常の活動で、市民には報告している場合も多いので、議会報告会という名前での議会としての報告は、年に1回の方が、全体的な報告という感じが色濃く、議会基本条例の趣旨にも近いと思う。【中村彰男】
- 班構成と開催地域は、現在と同じ、4班の4ブロック対応がのぞましいと思う。【中村彰男】
- 班の構成については、今回の地域別の班構成で出てきた課題を検証して、再検討した方がよい。地域別の構成にした場合、まず、全員のスケジュール調整が大変で、意思疎通の機会を確保するのに非常に苦労した。【中村彰男】
- そして、地域課題がいつも、議会報告会のテーマや市民要望となるかは、疑問視する部分もある。市全体の課題もあればいくつかの地域に共通する課題もある。地域に絞る必要性が議会報告会で必要あるのか、再検討の余地あると感じる。地域課題に特化することは、必須ではないと思う。【中村彰男】
- ただ、視点を変えてみる、試行してみるといったところは大変よかったと思う。【中村彰男】
- 班の構成は、委員会別がよい。理由としては、①チームワークの形成、意思疎通が容易である、②テーマを決めやすい、③委員会の延長線上で、メンバーも集まりやすい、といった内容である。【乾紳一郎】
- 今回は、同じ地域の議員の班構成で開催したので、南部地域の諸課題というテーマは良かったと思うが、今後はテーマを「防災について」など市民の関心あるものに絞って行うのもいいと思う。【野村誠】

- 木地区では新設小学校の問題と台風などの水害の避難方法等の意見が多く出た。地域ごとの心配事を取り上げるほうが良いが事前に情報収集が出来たら良いと思います。【渡辺仁二】
- 今回の議会報告会は、南部地域の議員による班別で開催されましたが、多くの住民の方に参加して頂け、特に「地域の課題」に対しては参加者の方といろいろな意見交換ができたのは良かったと思います。今後は、「地域の課題」とともに、「市全域の課題」についてもバランスよく意見交換できるよう検討が必要であると感じました。【大塚洋一】